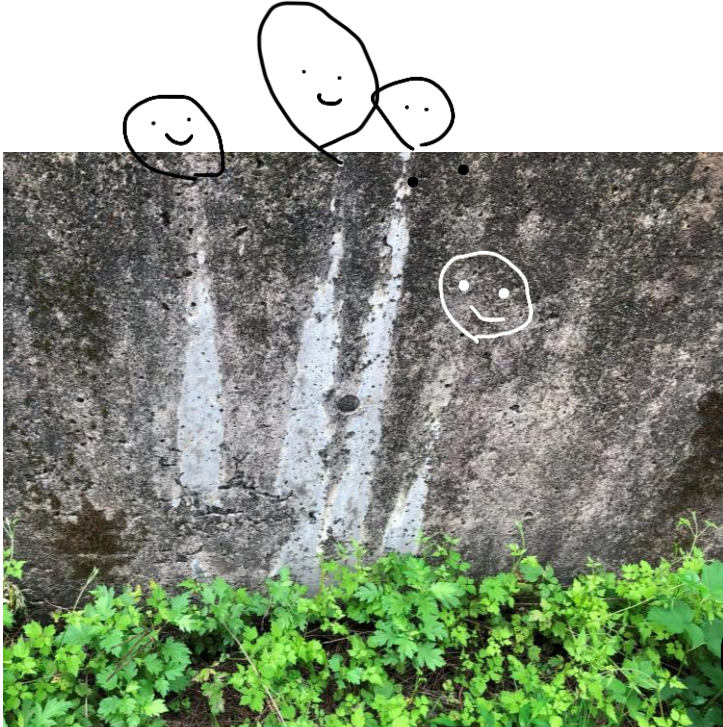


# 障がいのある方と演劇の時間を過ごしてみるワークショップ

## 参加者を募集します。



日程：1日からでも参加可能です。

2024年 12月21日(土)・22日(日)

2025年 1月18日(土)・19日(日)

開催時間：14:00～16:30 受付は13:30から

### 【2025年これからの予定】

2月15日(土)・16日(日)／3月15日(土)・16日(日)

★4月19日(土)・20日(日)／5月17日(土)・18日(日)

6月21日(土)・22日(日)

★7月19日(土)・20日(日)・21日(月・祝)

8月2日(土)

★4月は2日間、7月は3日間とも、東京から演出家の川口智子さんを迎えて実施します。少しずつ準備をして7月は鑑賞無料の小発表を行う予定です。

### おまねきするアーティスト

#### 川口智子

かわぐちともこ



演出家。インデペンデント・アーティスト。自身の主な企画・演出作品にコンテンポラリー・バンク・オペラ『4時48分精神崩壊』（作：サラ・ケイン、音楽：鈴木光介）。市民／公共ホールとの取り組みに「くにたちオペラ『あの町は今日もお祭り』（作：多和田葉子、作曲：平野一郎）、ミュージカル『回転木馬』（四日市市）、「劇場留学～お芝居をつくる7日間～」（小田原市）など多数。0歳からの「小さな劇場」（『太陽のタネ』『海のツブ』『宇宙のヒト』）や『「エンデの遺言」を読む』『恋愛のあなた（たち）・断章』などの「大人の読み聞かせ」をシリーズで手掛ける。街中に劇場をつくって遊ぶ「ほころびオーケストラ」としても活動中。

私とあなたのあいだに演劇を置いてみることから始めさせてください。

月に一度集まって、一年間を過ごしてみ、

少しずつ言葉や動きにしあえたらと思います。

その足元から見えてきた風景があれば、

誰かに聞いてもらいたい。観てもらいたい。

そんな思いからはじめる、はじまる、ワークショップです。



会場：やまぎん県民ホール 練習室 ほか

料金：各日2,000円（当日支払い）  
土日連続で3,000円

※障がい手帳のある方は半額です。

対象：20歳～70歳ぐらいまで

○発達障害、知的障害、精神障害の方

○一緒に演劇の時間を過ごしたい方

人数：1人～15人ぐらいまで

### 申込み方法：

以下を明記してメールでご連絡ください。

①お名前（フルネーム）／②電話番号／  
③メールアドレス／④好きなこと／⑤苦手なこと

※メールで申込みののちに、電話で事前面談をおこなわせてください。お話しの後にご参加の意思を確認させていただきます。

連絡先：あし場企画／五十嵐劇場  
[ikageki.adachi@gmail.com](mailto:ikageki.adachi@gmail.com)

090-4203-1618（安達）

留守電にメッセージを残してください。

### ワークショップでともに遊ぶ人

#### 安達修子

あだちしゅうこ



山形市出身在住。以前は新潟で劇団五十嵐劇場にて俳優として活動。東京で杉並区立公共劇場座・高円寺の劇場創造アカデミーで人材の育成に携わる。2022年より山形市にUターン。障害者生活支援員として働いている。新しい表現の場としてあし場企画を主宰。